



平成24年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月13日

上場取引所 東

上場会社名 前澤工業株式会社

コード番号 6489 URL <http://www.maezawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼管理本部経理部長 (氏名) 滝口 和彦

TEL 048-251-5511

四半期報告書提出予定日 平成24年4月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第3四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第3四半期	16,390	9.4	△128	—	△201	—	△203	—
23年5月期第3四半期	14,987	△20.7	△639	—	△634	—	△729	—

(注)包括利益 24年5月期第3四半期 △71百万円 (—%) 23年5月期第3四半期 △769百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年5月期第3四半期	△11.08	—
23年5月期第3四半期	△39.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第3四半期	29,408	13,079	44.5
23年5月期	27,325	13,151	48.1

(参考)自己資本 24年5月期第3四半期 13,079百万円 23年5月期 13,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日別途公表の「平成24年5月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	27,500	4.4	750	0.6	660	△6.6	580	41.3	31.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期3Q	21,425,548 株	23年5月期	21,425,548 株
② 期末自己株式数	24年5月期3Q	3,089,572 株	23年5月期	3,089,492 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期3Q	18,336,026 株	23年5月期3Q	18,336,030 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 追加情報	8
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が底堅く推移したほか、設備投資や雇用情勢も持ち直しの動きが見られるものの、企業収益が減少し、物価動向も緩やかなデフレ状況にあるなど、依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、補正予算による押し上げ効果が期待されるも、公共投資関係費の削減、公共事業費のコスト縮減が行われたことによる企業間競争の激化により、非常に厳しい環境が続きました。

このような状況のもとで当社グループは、上・下水道市場や環境関連分野の民間市場に対し、採算性を重視した選別受注を推進し、販売活動を展開してまいりました。その結果、受注高は21,631百万円（前年同期比16.8%増）、売上高は16,390百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

損益につきましては、引き続きコストダウンと効率化を行うなど、低原価体質を基調とした強固な企業体質の構築を推し進めるべく諸施策を実施した結果、経常損失は201百万円（前年同期634百万円の損失）、四半期純損失は203百万円（前年同期729百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの事業の特徴として、受注した装置類の納期等が3月末に集中することから、売上及び利益計上が第4四半期に集中する傾向にあります。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①環境事業

環境事業については、公共投資関係費の削減及び民間設備投資、不動産市況の低迷により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、受注高9,407百万円（前年同期比31.3%増）、売上高7,364百万円（前年同期比15.8%増）、セグメント損失157百万円（前年同期579百万円の損失）となりました。

②バルブ事業

バルブ事業については、公共投資関係費の削減により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、受注高7,120百万円（前年同期比0.1%増）、売上高6,240百万円（前年同期比2.7%減）、セグメント損失100百万円（前年同期18百万円の損失）となりました。

③メンテナンス事業

メンテナンス事業については、公共投資関係費の削減により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、受注高5,102百万円（前年同期比20.4%増）、売上高2,786百万円（前年同期比25.9%増）、セグメント利益173百万円（前年同期16百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は29,408百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,083百万円増加しました。主な変動項目としましては、受取手形及び売掛金が4,055百万円、仕掛品が844百万円増加しており、現金及び預金が3,463百万円減少しております。

負債合計は16,329百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,155百万円増加しました。主な変動項目としましては、短期借入金1,300百万円、前受金が952百万円、リース債務（流動負債及び固定負債）が735百万円増加しており、支払手形及び買掛金が769百万円減少しております。

純資産合計は13,079百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円減少しました。主な変動項目としましては、利益剰余金が203百万円減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月期の連結業績予想につきましては、平成23年7月14日に「平成23年5月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,344	3,881
受取手形及び売掛金	6,320	10,376
有価証券	3	3
商品及び製品	1,303	1,658
仕掛品	1,406	2,251
原材料及び貯蔵品	553	899
繰延税金資産	12	2
その他	425	353
貸倒引当金	△8	△13
流動資産合計	17,362	19,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,498	2,409
機械装置及び運搬具(純額)	744	822
工具、器具及び備品(純額)	469	464
土地	3,629	3,629
建設仮勘定	2	56
有形固定資産合計	7,344	7,383
無形固定資産	659	561
投資その他の資産		
その他	1,978	2,059
貸倒引当金	△19	△8
投資その他の資産合計	1,958	2,050
固定資産合計	9,963	9,995
資産合計	27,325	29,408

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,980	6,211
1年内償還予定の社債	66	166
短期借入金	—	1,300
リース債務	73	401
未払金	614	361
未払法人税等	208	30
前受金	904	1,857
工事損失引当金	1	34
完成工事補償引当金	50	—
その他	528	548
流動負債合計	9,427	10,911
固定負債		
社債	101	418
長期借入金	2,500	2,500
退職給付引当金	1,743	1,690
役員退職慰労引当金	5	—
長期未払金	22	39
リース債務	274	681
繰延税金負債	99	88
固定負債合計	4,746	5,417
負債合計	14,174	16,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,233	5,233
資本剰余金	4,794	4,794
利益剰余金	4,289	4,086
自己株式	△1,007	△1,007
株主資本合計	13,311	13,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△160	△28
その他の包括利益累計額合計	△160	△28
純資産合計	13,151	13,079
負債純資産合計	27,325	29,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
売上高	14,987	16,390
売上原価	12,266	13,017
売上総利益	2,721	3,373
販売費及び一般管理費	3,360	3,501
営業損失(△)	△639	△128
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	54	56
助成金収入	10	—
その他	8	18
営業外収益合計	76	77
営業外費用		
支払利息	39	85
支払手数料	19	39
社債発行費	6	22
手形売却損	4	—
売上債権売却損	0	—
有価証券売却損	—	0
その他	1	2
営業外費用合計	72	150
経常損失(△)	△634	△201
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	—
固定資産売却益	10	—
完成工事補償引当金戻入額	—	50
特別利益合計	12	50
特別損失		
固定資産除却損	10	8
固定資産売却損	0	—
ゴルフ会員権評価損	4	—
投資有価証券評価損	13	0
貸倒引当金繰入額	0	—
特別損失合計	28	8
税金等調整前四半期純損失(△)	△650	△159
法人税、住民税及び事業税	24	44
法人税等調整額	55	△0
法人税等合計	79	43
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△729	△203
四半期純損失(△)	△729	△203

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△729	△203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	131
その他の包括利益合計	△39	131
四半期包括利益	△769	△71
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△769	△71
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.4%から、平成24年6月1日に開始する連結会計年度から平成26年6月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については37.8%に、平成27年6月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.4%となります。この税率変更により、繰延税金負債の金額(繰延税金資産の金額を控除した金額)は9百万円減少し、法人税等調整額は9百万円減少しております。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	環境事業	パルプ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,361	6,414	2,212	14,987	—	14,987
セグメント間の内部売上高 又は振替高	142	380	33	556	△556	—
計	6,503	6,794	2,246	15,544	△556	14,987
セグメント損失 (△)	△579	△18	△16	△613	△25	△639

(注) 1 セグメント損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	環境事業	パルプ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,364	6,240	2,786	16,390	—	16,390
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69	336	12	418	△418	—
計	7,433	6,576	2,798	16,808	△418	16,390
セグメント利益又は損失 (△)	△157	△100	173	△84	△43	△128

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。